

都市計画マスタープラン改定及び立地適正化計画策定に向けた シンポジウム及びワークショップ（こまえ みらい 2040）の実施内容について

庁 議 資 料
令和2年12月16日

狛江市都市計画マスタープランの改定及び狛江市立地適正化計画の策定にあたり、狛江市の将来のまちづくりについて、市民の皆さまの自由な発想で議論し、アイデアや意見を引き出すことを目的としてシンポジウム及びワークショップを開催しました。

開催日時：令和2年12月5日（土）午後1時から午後5時30分 参加者：58名

第1部 シンポジウム（午後1時20分から午後2時20分）

計画の策定委員会の委員等である学識経験者の皆さまに、それぞれの専門的見地より、狛江市が目指すべき将来像を語っていただきました。

テーマ：住み続けたい選ばれ続けるまち 狛江市の将来像

コーディネーター：

卯月 盛夫氏（早稲田大学社会科学総合学術院教授）

加藤 仁美氏（東海大学工学部建築学科客員教授）

杉浦 浩氏（東京都建設防災ボランティア協会顧問）

入江 彰昭氏（東京農業大学地域環境科学部地域創成科学科准教授）

河上 牧子氏（一般社団法人令和防災研究所主任研究員）

井上 赫郎氏（株式会社まちづくり研究所代表取締役）

第2部ワークショップ（午後2時30分から4時）

シンポジウムに登壇された学識経験者の皆さまが仕切り役（ファシリテーター）となり、6つのテーマ毎にワークショップを進めました。

テーマ1. 卯月 盛夫氏 参加者：6名

「10代・20代が描く狛江のみらい

（Teens・Twenties KOMAE Project 2040）」

テーマ2. 加藤 仁美氏 参加者：7名

「新たな日常生活の展開を見直そう」

テーマ3. 杉浦 浩氏 参加者：11名

「道路と交通環境の在り方、駅周辺整備を考えよう」

テーマ4. 入江 彰昭氏 参加者：10名

「みんなに愛される公園・緑・農の風景づくり」

テーマ5. 河上 牧子氏 参加者：13名

「防災まちづくりを考えよう」

テーマ6. 井上 赫郎氏 参加者：11名

「にぎわいとふれあいのある魅力ある拠点づくりを考えよう」



テーマ1



テーマ2



テーマ3



テーマ4



テーマ5



テーマ6

取りまとめ結果発表・全体講評

午後4時 10分から午後5時 30分

講評者：卯月 盛夫氏・奥村 玄氏

各講師による結果発表及び講評者による取りまとめを行いました。



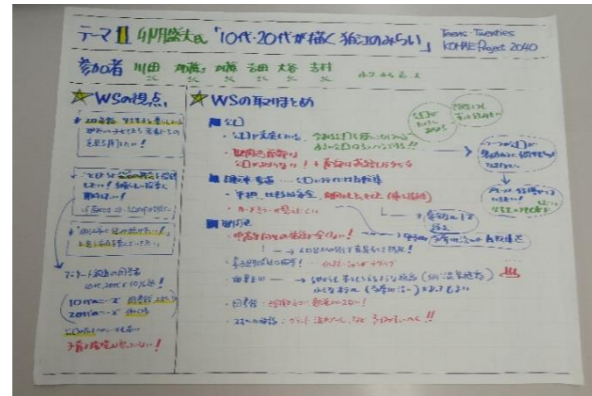
グループ成果

テーマ1

「10代・20代が描く粕江のみらい」

WS取りまとめ

- ★中高生の施設の充実、子育て施設の整備

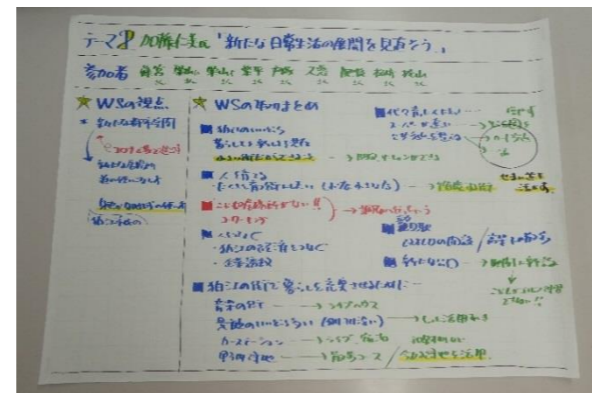


テーマ2

「新たな日常生活の展開を見直そう」

WS取りまとめ

- ★粕江のまち中で暮らしを充実させる新たな居場所、道の使いこなし方

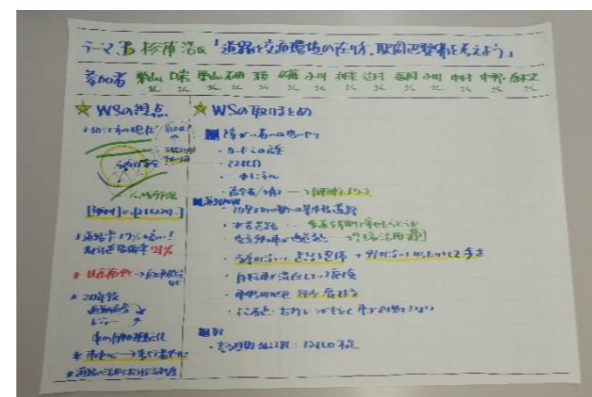


テーマ3

「道路と交通環境の在り方、駅周辺整備を考えよう」

WS取りまとめ

- ★車中心から歩行者通信の道路へ
- ★都市計画道路の整備の推進
- ★駅周辺の活性化

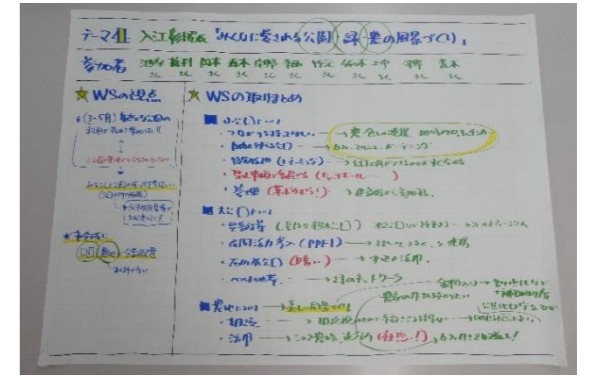


テーマ4

「みんなに愛される公園・緑・農の風景づくり」

WS取りまとめ

- ★身近な公園の利用者増加
- ★農地の活性化
- ★公園のネットワーク化

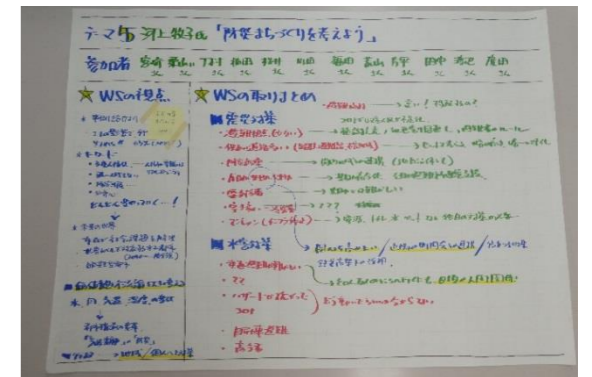


テーマ5

「防災まちづくりを考えよう」

WS取りまとめ

- ★自助・共助・公助
- ★防災の知恵の継承
- ★避難場所の確保

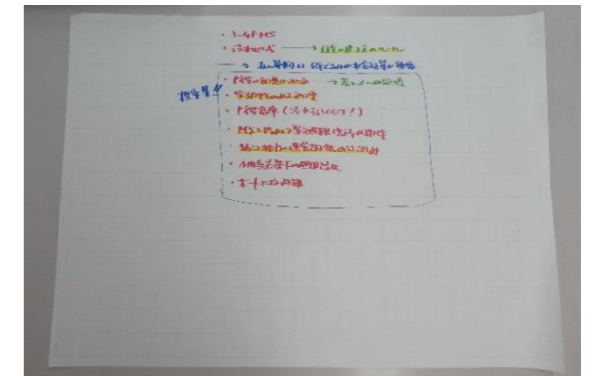


テーマ6

「にぎわいとふれあいのある魅力ある拠点づくりを考えよう」

WS取りまとめ

- ★身近なところをより魅力的に
- ★好きな公園
- ★若者の集いの場



実施結果

ワークショップでは参加者から活発な意見交換ができ、都市計画マスタープラン改定及び立地適正化計画策定のための市民意見を収集する目的は達成できました。

問題点

Web 会議システムを各会場で利用して画像及び音声を配信しましたが、画像及び音声の乱れ、シンポジウムでの先生方の講演やワークショップ内容の共有等ができない部分が発生しました。

画像及び音声の乱れは、Wi-Fi 能力不足と考えられます。